

平 成 26 年 5 月 14 日 国土交通省中部地方整備局 名 四 国 道 事 務 所



# 豊田南バイパス(豊田市美山町~東新町)

# 開通1ヵ月後の交通状況

~開通区間の利用交通が定着し、周辺路線の交通が減少~

### 記者発表資料

#### 1. 概要

国道155号豊田南バイパス(豊田市美山町~同市東新町間、延長:約1.1km)が、平成26年3月16日(日)に暫定2車線で開通しました。

このたび、開通1ヶ月後の交通状況をとりまとめましたのでお知らせします。

#### ◆開通から1ヶ月の交通状況◆

- ■開通区間の利用交通量は、1日あたり約13,000台となりました。
  - ▶開通直後に比べ、約3,000台増加(約3割)しており、開通以降、着実に利用台数が増加し、より多くの方にご利用いただいています。
- ■国道155号(現道)区間の交通量が減少(豊田南バイパス利用の促進)。
  - ▶今回の開通により、並行する<u>国道155号</u>の交通量が<u>約4,700台減少(約3割)</u>し、豐田 南バイパスの既に開通している区間の交通量が、約7,900台増加(約6割)。
- ■並行する道路で大型車交通が減少。
  - ▶ 豊田南バイパスの開通により、並行する(県)豊田環状線、(県)宮上知立線、市道及び 国道155号の大型車が減少(約3割)。

今後とも、引き続き状況の把握に努めてまいります。

#### 2. 資 料

- 別紙1 : 豊田南バイパス 開通後の交通状況(交通の定着)

別紙2 : 豊田南バイパス 開通後の交通状況(現道 155 号と豊田南バイパスの変化)

・別紙3 : 豊田南バイパス 開通後の交通状況(大型車の減少)

※本記者発表資料で使用している図等の使用を希望される場合は、下記問合先までご連絡下さい。

3. 配布先・豊田市政記者クラブ(解禁指定なし)

#### 4. 問合先

かすぎ たか

国土交通省中部地方整備局 名四国道事務所 副所長 若杉 孝司

TEL:052-823-7911(代表) FAX:052-823-7919(代表)

ホームページアドレス <a href="http://www.cbr.mlit.go.jp/meishi/">http://www.cbr.mlit.go.jp/meishi/</a>

未来を創る!三河地域の幹線道路づくり。

道路の異状を発見したら・・・ 道路緊急ダイヤル #9910(24時間受付)

## 豊田南BPの開通後、着実に利用台数が増加

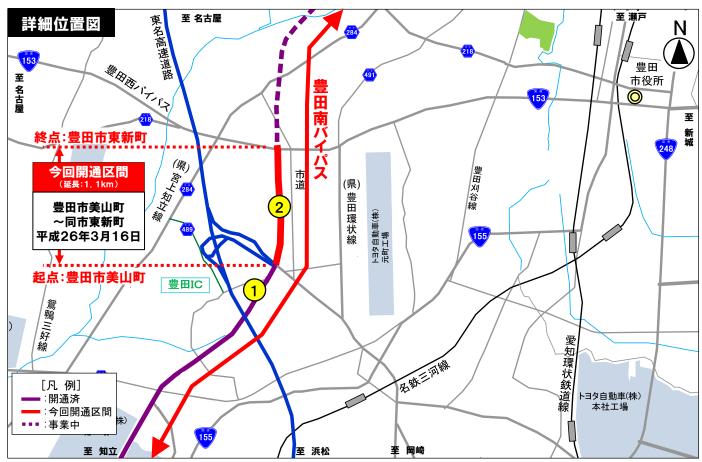
- ■豊田南BPの既に開通している区間は、開通により、交通量が約7,900台(約6割)増加しています。
- ■豊田南BPの今回の開通区間の交通量が開通直後に比べ、約2,800台(約3割)増加しています。
- ■開通以降、豊田南BPの利用台数が着実に増加しており、より多くの方にご利用いただいています。

### ①既に開通している区間は、今回の開通により、 開通前に比べ交通量が約6割(約7,900台)増加

#### 開通前から 195百台/日 202百台/日 区間交通量(台/日 約6割増加 200 38百台 39百台 150 123百台/日 34百台 100 164百台 156百台 50 89百台 □大型車 小型車 0 開通前 開诵直後 開通1ヵ月後 ①豊田南BP(既開通区間)

# ②今回開通した区間は、開通直後に比べ、 交通量が約3割(約2,800台)増加

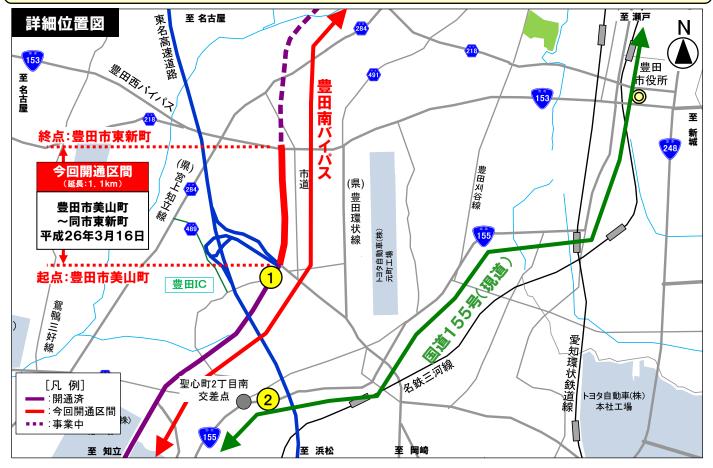




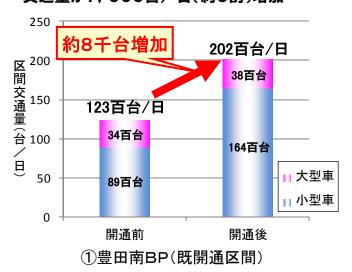
# 豊田南バイパス 開通1ヵ月後の交通状況(現道155号と豊田南BPの変化)

# 国道155号(現道)の交通量が減少し、豊田南BPの利用が促進

- ■今回の開通により、豊田南BPの既に開通している区間は、交通量が約7,900台/日増加しており、 周辺路線から豊田南BPへの交通転換が図られています。
- ■特に、大きく交通が転換した並行する国道155号では、交通量が約4,700台/日減少しています。



### ①既に開通している区間は、今回の開通により、 交通量が7,900台/日(約6割)増加



### ②並行する国道155号(現道)では、 交通量が4.700台/日(約3割)減少



# 豊田南BPに並行する道路の大型車交通が減少。

■豊田南BPに並行する(県)豊田環状線、(県)宮上知立線、市道及び国道155号の大型車交通が、約3割減少しました。



### ◆路線間の利用率(交通量の割合)の変化

⇒ 豊田南バイパスの開通により並行する道路の大型車交通量が 約3割(合計1,400台/日)減少。

